



東海村

議会だより

第32号

2018.4

目次

3月定例会

新たな正副議長が就任…………… P2

一般会計予算を含む全ての議案を可決…………… P2～3

議案に対する討論…………… P4～5

村政を問う！（代表質問／一般質問）…………… P6～13

6月定例会日程（予定）…………… P14

委員会のメンバーが変わりました…………… P14

全ての議案を可決



▲定員増となった百塚保育所

平成30年3月定例会を3月1日から27日までの会期で開きました。

本議会では、平成30年度予算案を中心に審議し、村立保育所の定員増および財産取得(天神山緑地保全用地)を含めた全ての議案を原案どおり可決しました。

(賛否の分かれた議案は、5ページに掲載)。



▲天神山における緑地保全活動の様子

新たな正副議長が就任

就任挨拶



副議長

越智辰哉(3期)

議長を支え、円滑な議会運営に努めることはもとより、村民の皆さまから「東海村議会」全体が信頼される議会となるよう、全力で取り組んでまいります。



議長

大内則夫(4期)

このたび、議長の大役を仰せつかり、身に余る光栄と責任の重さを痛感しているところでございます。公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

一般会計予算を含む

平成30年度
一般会計予算

前年度と同規模189億円 賛成多数で可決

賛成 (14)

反対 (5)

◆ 賛成議員の主張

植木 伸寿 議員 (公明党)

本予算は、積極的に外部予算を充てるなど、限られた財源を効果的に活用することで、健全な財政運営を念頭に「子育てしやすい東海村」の実現に向け、予算が積み上げられていると認められる。



村上 邦男 議員 (新政とうかい)

村長が掲げる「持続可能なまちづくり」の実現に向けて、産業振興を含めた5つの最重点施策を掲げ、この取り組みに手厚い予算計上と、将来を見据えた財政運営にも取り組む点を高く評価する。



◆ 反対議員の主張

大名 美恵子 議員 (無会派)

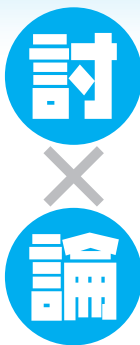
「子育てに優しいまち」を目指すことは良いが、村の独自性を出さず国の悪政を受け入れて、その流れで村政を進めようとする基本的政治姿勢により組まれた予算は容認できない。また議員のアイダホ訪問に公費は使用すべきでない。



江田 五六 議員 (みすずの会)

交流館建設に伴う造成工事費 4,000 万円の予算計上は認められない。建設予算 12 億円は震災前のコスト。オリンピックに伴う資材高騰、消費税値上げ等により青天井の建設費。課題難題が山積する中、時代錯誤としか思えない。





議案第4号
東海村職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例

反対

無会派 大名美恵子議員
地方公務員の仕事にはなじまない人事評価の結果を降給に反映させることは、村民の福祉の向上のために能力を発揮する村職員の役割を大きくゆがめかねない。

議案第7号
東海村いじめ問題対策連絡協議会等条例

反対

無会派 大名美恵子議員
いじめ対策は、少人数学級の拡充や、学力テストの中止、養護教諭の複数配置やスクールカウンセラーの増員と待遇改善などで、教育の営みの中でこそ解決を。

議案第8号
東海村保育所設置条例の一部を改正する条例

反対

無会派 大名美恵子議員
舟石川保育所と百塚保育所の定員を増やして待機児童解消の手立てとせず、保育所の新設を。

討論とは…自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

議案第10号
東海村国民健康保険条例の一部を改正する条例

反対

無会派 大名美恵子議員
広域でも税額の県内統一は行なわず、村の法定外一般会計繰り入れも可能とされた。激変緩和措置と法定外繰り入れの増によるべきで、税引き上げは中止すべき。

賛成

新政とうかい 笹嶋 士郎 議員
国民健康保険制度が被保険者の高齢化や低所得者の増加など構造的な問題を抱える中、財政運営が一層困難な状況を受けて財政基盤の安定化を図るために条例を改正するもので、将来に向け必要な事である。

反対

みずの会 恵利 いつ 議員
国保制度には、住民福祉の中心的な位置づけと役割がある。「いのちと健康」を守るための福祉の充実は行政の大切な役目。無所得世帯や所得水準が低い世帯に保険料の負担割合が重くなっている条例改正には反対である。

議案第28号
平成25年度東海村国民健康保険事業特別会計予算

反対

みずの会 清宮 寿子 議員
平成25年度から28年度の東海村国保事業特別会計は黒字決算で推移しており保険税値上げの理由は無い。国保の制度変更に伴い、村の国保加入者に更なる負担増を求めるのでなく、一般会計からの繰入金で対処すべき。

賛成

新政とうかい 新垣 麻依子 議員
激変緩和措置額の逓減や医療費増加により村の納付金は今後も増加が予想されるが、国保納税収納額は減少しており需要額と収入額のミスマッチが深刻化している。国民健康保険財政の安定化に寄与する予算である。

議案第29号
平成30年度東海村後期高齢者医療特別会計予算

反対

無会派 大名美恵子議員
軽減措置の廃止や賦課限度額の引き上げ等で、一人当たり平均保険料額が引き上がることは容認できない。

反対

議案第30号
平成30年度東海村介護保険事業特別会計予算

無会派 大名美恵子議員
保険料は徴収されるが、制度改善の進行で、必要な介護が受けられないままの介護保険制度は容認できない。

反対

議案第35号
平成30年度水戸・勝田都市計画事業東海村公共下水道事業特別会計予算

無会派 大名美恵子議員
下水道会計に地方公営企業法を適用させ、年内に条例改正を見込んだことは、使用料が今後際限なく増える可能性となった。

反対

賛成

反対

今、所得補償の復活を求める動きが全国に広がっている。農業所得が確保できる基盤をつくることこそ重要。

無会派 大名美恵子議員

議案第41号
茨城北農業共済事務組合の規約の変更について

老朽化した導水管等の更新や施設維持管理等の費用増、一般会計からの補助金に依存、将来的に資金不足等の問題があり、現行の料金体系を見直した条例を12月議会で議決した。これに基づき適切に編成されている。

新政とうかい 寺門 定範議員

節水意欲を促す基本水量の見直しは評価できるが、現在節水傾向が認められる中で料金を引き上げる予算は認められない。

無会派 大名美恵子議員

議案第36号
平成30年度東海村水道事業会計予算

各議員の賛否（議案で賛否の分かれたもの）

議員名 議案名	新政とうかい											みすずの会			公明党		無会派		結果			
	鈴木 昇	飛田 静幸	村上 邦男	舛井 文夫	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	新垣麻依子	江田 五六	恵利 いつ	清宮 寿子	阿部 功志	岡崎 悟	植木 伸寿		大名美恵子	村上 孝	
議案第 4号	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決	
議案第 5号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第 7号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第 8号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第10号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○	可決
議案第27号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○	可決
議案第28号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○	可決
議案第29号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第30号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第35号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第36号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案第41号	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

○…賛成

×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

議案名と要旨

議案第 4号	東海村職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例 降給等に該当する場合の分限処分の手続について定めるための一部改正
議案第 5号	東海村特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 東海村いじめ問題対策委員会及び東海村いじめ問題再調査委員会の設置に伴い、報酬等の規定を追加するための一部改正
議案第 7号	東海村いじめ問題対策連絡協議会等条例 東海村いじめ問題対策連絡協議会等を設置するための条例
議案第 8号	東海村保育所設置条例の一部を改正する条例 東海村立百塚保育所及び舟石川保育所の定員を増員するための一部改正
議案第10号	東海村国民健康保険税条例の一部を改正する条例 東海村国民健康保険事業の安定的な維持運営を図ることから、国民健康保険税の税額等を改正するための一部改正
議案第27号	平成30年度東海村一般会計予算 平成30年度の一般会計予算
議案第28号	平成30年度東海村国民健康保険事業特別会計予算 平成30年度の国民健康保険事業特別会計予算
議案第29号	平成30年度東海村後期高齢者医療特別会計予算 平成30年度の後期高齢者医療特別会計予算
議案第30号	平成30年度東海村介護保険事業特別会計予算 平成30年度の介護保険事業特別会計予算
議案第35号	平成30年度水戸・勝田都市計画事業東海村公共下水道事業特別会計予算 平成30年度の公共下水道事業特別会計予算
議案第36号	平成30年度東海村水道事業会計予算 平成30年度の水道事業会計予算
議案第41号	茨城北農業共済事務組合の規約の変更について 農業災害補償法の一部を改正する法律の施行に伴う規約の変更

村政を問う!

代表質問 一般質問

代表質問

村上 邦男 議員 (会派：新政とうかい)

- 1 平成 30 年度施政方針について
- 2 誰もが住み続けたいと感じるまちの実現
- 3 新たな産業創成を見据えた地域経済の活性化
- 4 国体開催に向けた取り組みの加速化
- 5 歴史と未来の交流館開館に向けた取り組み
- 6 災害に対応した安心安全対策の充実
- 7 原子力政策について
- 8 村民生活の根幹を成すインフラの充実化
- 9 新たな共生型の地域社会づくり
- 10 組織再編について

江田 五六 議員 (会派：みすずの会)

- 1 格差社会であっても「住民力」を高める施策
- 2 新たに設けられる産業政策課の役割と展望
- 3 OJT を活用した地域経済の活性化と国際交流
- 4 格差社会における高齢者対策
- 5 未来を展望する歴史の学び方とは
- 6 (仮称) 東海村在宅医療相談センターの設置が必要
- 7 健康モデル都市を目指す

岡崎 悟 議員 (会派：公明党)

- 1 本年度予算における歳出について基本的な考えは
- 2 親子の絆づくり推進事業について
- 3 平成 30 年第 2 期データヘルス計画について
- 4 在宅医療・介護連携推進事業の進捗は
- 5 下水道施設総合地震対策事業について
- 6 放射線量低減対策特別緊急事業について
- 7 東海村スポーツ推進計画について
- 8 役場職員の地域貢献について

一般質問

村上 孝 議員

- 1 地域共生社会の取り組み
- 2 農業政策と環境整備
- 3 公立保育所・幼稚園等の再編整備
- 4 道路の冠水整備

阿部 功志 議員

- 1 安全協定の見直し問題の進捗状況は
- 2 本村では、実効性のある広域避難計画策定の完了について期限をどう考えているか
- 3 小中学校普通教室へのエアコン設置、その進捗状況は
- 4 中学校部活動の改善への意識改革は
- 5 コミセンの施設の、高齢者増に対応した環境整備の予定は

恵利 いつ 議員

- 1 まちづくりの視点から考える NPO・市民活動団体の育成
- 2 緑地保全活動を地域や市民活動団体の活性化につなげるために
- 3 子どもの貧困問題と(仮称)みんなの食堂への取り組み
- 4 原子力防災問題について、住民にも主体的に関与してもらう事への村長の考えは

植木 伸寿 議員

- 1 村民との協働に向けた考えと取り組みは
- 2 福祉向上によるセーフティネットの環境づくりは
- 3 安心・安全に向けた消費者教育への取り組みは
- 4 情報発信の推進などの取り組みは

寺門 定範 議員

- 1 村道の保全計画等について
- 2 農地流動化促進奨励金等について
- 3 東海村スポーツ推進計画について

大名 美恵子 議員

- 1 平成 30 年度村政施策等に関する村長説明について
- 2 しごとの仕方改革について
- 3 災害に強いまちづくりを目指した安全安心対策の充実化
- 4 子育て支援と公立保育所、幼稚園等に関する再編整備の関係
- 5 原子力政策について

武部 慎一 議員

- 1 教員勤務実態調査の集計速報から見える課題は
- 2 学校における働き方改革に関する緊急対策・業務改善通知をどう読み解くのか
- 3 超高齢化社会における人生 100 年を見据えた生涯学習をどう捉えるのか
- 4 サードカルチャーキッズ等への対応をどう考えるべきか
- 5 ここ数年力を入れてきた村全体を俯瞰した総合管理計画の構築に向けた現状は

清宮 寿子 議員

- 1 国民健康保険税の村民負担増は妥当か
- 2 村松海岸砂防林枯死への現状に対し、村の考え及び対応は
- 3 TOKAI 原子力サイエンスタウン構想の進捗状況と課題は

※青字の質問を掲載。

※議会ホームページでもご覧いただけます。

代表質問・一般質問とは

議員が、村のさまざまな施策について村長や教育長に対して質問し、時には是正を求めながら、新たな施策の提案や意見を述べ、村政をより良い方向へ導くものです。

代表質問は、2人以上で構成される会派を代表して行う質問のことで、一般質問は議員個人が行います。なお、東海村では3月定例会でのみ代表質問が行われています。

問 平成30年度の施政方針について

答 持続可能なまちづくりの実現へ



新政とうかい

村上 邦男 議員

問 2期目のスタートとなる平成30年度予算編成の考え方・本村を取り巻く財政の見通しや重点施策を5つのキーワードに集約した背景は。

答 村税が減収するなかで、「新たな共生型の地域社会づくり」を推進していくために、重点施策「子育て・産業振興・国体・交流館・安全安心」を位置づけし、予算化した。

問 阿漕ヶ浦公園の再整備状況は

答 第2期工事は年度内完了の見込み



国体のホッケー会場となる阿漕ヶ浦公園（工事前）



工事後 ホッケー場の南側はイベントもできる広場に



（仮称）歴史と未来の交流館内の活動イメージ

問 茨城国体のホッケー会場となる阿漕ヶ浦公園の再整備状況は。

答 今年度の第2期工事として、ホッケー場の夜間照明施設の設

問 交流館建設の進捗状況は

答 3月を目途に見直しを行う

問 （仮称）歴史と未来の交流館開設に向けて、基本設計から実施設計へと移行したが、現在の進捗状

問 避難訓練実施と計画への反映は

答 3月を目途に見直しを行う

問 次なる避難訓練実施の考えと、広域避難計画策定への反映はどのようか。

答 実効性のある広域避難計画の策定と検証につなげていくために、避難先自治体の避難所への受け入れまでを想定し、実施時期や訓練内容等について調整しているところである。

置や雨水対策・園路等の整備を進めており、年度内完了の見込みである。

況や今後の進め方はどうなっているか。

答 オープンスペースの拡充や事務室の集約化、多様な情報発信スペースの確保など「交流機能の拡充」を図るため、3月末を目途に基本設計の見直し作業中である。平成30度は建設地の造成工事を予定している。

問 時期や内容について調整中

問 コミュニティの再構築が必要

答 環境整備に努める

問 各地域内にある公園・城址・緑地・公共施設の一部などの維持

答 村としても「住民力」を生かせる新たな「地域コミュニティ」の再構築が必要であると考ええる。



帆待ち（ほまち） 出帆を待つ間の船頭のかせぎ

問 これからの長寿社会は、地域内での有償ボランティアや雇用関係による「地域コミュニティ」の再構築が必要になる。そこで村の予算約300億円のうちごく一部でも村内・地域内で循環するシステムを作り、地域住民が「ほまち」（臨時収入）を得る事ができる仕組み作りが必要である。

答 管理は、管理費を払って地域の人に任せる。清掃活動などを通して公園への愛護心、地域環境の向上、地域のコミュニティの形成等が図られるので、住民力を生かして環境整備に努めていく。



みすずの会
江田 五六 議員

問 超高齢化・長寿社会への対策として、政府は「入院より在宅で」の方針である。これからの病院は急性疾患が中心で、慢性疾患や生活習慣病はかかりつけ

答 住み慣れた地域作りを目指す

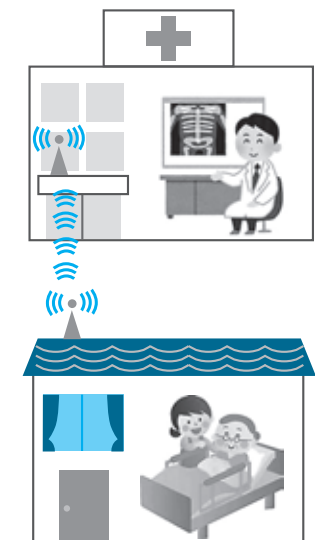
問 在宅医療相談センターが必要

答 「誰もが住み慣れた地域や施設で自分らしく暮らしを続けることができる」ことを目指す。

問 健康モデル都市を目指す

答 親しみやすい運動から取り組む

問 これからの長寿社会において、村民が健康で長生きするには、気軽に自宅周辺でスポーツに親しめる環境作りが必要である。



療養中の在宅高齢者の健康状態を24時間監視し、対応出来るセンター

問 スポーツ推進計画をつくり、スポーツに親しんでもらう。計

答 スポーツ推進計画をつくり、スポーツに親しんでもらう。計

問 目標を達成するには、ラジオ体操、ウォーキング、卓球、ダンス、など手軽にできる運動から始めるのが良いと思う。

答 教育委員会と福祉部が連携して進める。



問 役場職員の地域貢献活動を求める

答 副業基準を見直し貢献活動を奨励

問 役場職員が、地域での貢献活動や副業に参加しやすくなる取り組みを求める。地方公務員の副業への就労は、村長（任命権者）の許可が必要。本村では、職員服務規程第21条2（営利企業等従事許可（手続き））で、職員の副業を限定して認めているが、職員の地域貢献活動については、消極的だと感じる。職員服務規程で、地域貢献活動に積極的に参加できるように、村の副業に関する基本的な考え方や就労基準を明確に示し、公共性のある組織での副業に就労しやすい



公明党
岡崎 悟 議員

くなるよう環境を整えて、職員の意識を変え、職員が地域にコミニティでの貢献活動を促すことができないか。例を挙げれば、NPOでの勤務やスポーツ指導などの取り組みが対象で、コンビニ等でのアルバイトは対象外である。本村の考えを伺う。

答 本村では、地方公務員法第38条の規定に基づき、職員の営利企業等の従事の制限で、「職務専念義務との関係」「職務の公正の確保」「職員の品位の維持」の観点から、問題がない場合は、職員の



審判で汗を流す職員

副業を認めている。議員ご指摘のとおり、「新たな地域づくり」を指して、職員も住民の方々と一緒に考え、本村の「住民力」を生かせるように、地域との関わりを密にし、地域づくりに積極的に参加することが重要であると考えている。また、職員の資質や能力の向上という面で考えても、地域の一員として職員が活躍することは、大い

に有益と考える。このことから、営利企業等の従事の制限の運用について、「新たな地域の方」と「人材育成」の観点から、検討したい。

問 「検討したい」とのことだが、早い時期に見直すとい

うことが。

答 時期や手法はこれからとなるが、早期の見直しを検討したい。

問 村長の考えを伺う。

答 私（村長）は所信表明で、住民と一緒に



球審で少年野球振興に励む職員

考えて、ともに地域をつくり上げたいと申し上げた。私の思いでもあり、役場全体の意志でもあるが、職員が地域活動に参加するには、使命感だけでは限界があると思う。職員の副業を認めることで、地域貢献活動に参加する職員の背中を押すことになるのであれば、積極的に取り入れていきたいと考える。

問 村立保育所・幼稚園等の再編整備

答 再編整備基本計画（案）を定める



村上 孝 議員

問 平成29年度中に本村の保育所・幼稚園等の将来像の検討は。

答 半数以上が建築から40年以上経過していることを踏まえ基本方針を定めた。具体的な再編整備の方向性は、村松幼稚園、百塚保育所、村松宿こども園はそのまま存続。石神幼稚園は平成34年度を目標に幼稚園機能を維持存続させた上で、石神小学校の余裕教室を活用した小学校への移転を進め、全国的にも稀なケースである幼小連携施設で幼児教育を行う。課題などある



幼小連携施設となる石神小学校

が、小学校はもとより地区住民の皆様とも十分協議しながら慎重に整備を進めていく。舟石川保育所、舟石川幼稚園は宅地開発が進む地域性から、住民ニーズの変化に対応するため施設を統合し、平成35年度を目標に幼小連携認定こども園への移行を進める。須和間幼稚園は大規模宅地開発地域であり、将来の動向を見極め、5年後を目途に幼稚園型認定こども園への移行や幼稚園機能の維持・存続を視野に入れて改めて検討する。

問 避難計画策定の完了期限は

答 広域避難訓練などの後



みすずの会
阿部 功志 議員

問 1月に笠間市、2月に常陸太田市が市の広域避難計画を策定したと発表した。しかし、見ると具体的な問題は何も解決されていなかった。これで策定とは疑問だ。本村では実効性のある広域避難計画策定の完了について期限をどう考えるか。

答 広域避難計画の策定に向けて、引き続き、関係機関との協議、広域避難訓練の実施検討などの取り組みを進めているので、計画の策定はその先になると考えている。

問 小中学校へのエア

問 コン設置その後
経費の試算や施工時期を検討中

問 小中学校の普通教室にエアコンを設置する計画の進み具合は。

答 経費の試算と運用方法の検討の最終段階に入っている。概算設置工事費を試算している段階。リース契約などさまざまな設置管理形態を想定し、導入に際してのメリット・デメリットや経費の比較検討を行った。工事の時期、設置後の運用方法なども検討しているところ。平成31年度には予算計上ができるように努めたい。



避難先への地図を見る家族
原発事故ではとにかく早く逃げること



問 子どもの 7人に1人が貧困状態

答 健康状態など注意深く状況を把握



みすずの会
恵利 いつ 議員

問 途上国にみられる絶対的貧困と違い、日本の相対的貧困は一見わからない。子どもの貧困問題に対する村の対応は。

答 子どもの日常的な様子の観察・把握から世帯全体に視野を広げた支援が必要と考えている。福祉・教育のみならず収税部門とも連携し、早期発見に努めている。民生・児童委員等の地域の方の見守りも大きな支えである。世帯の自立に向けた相談支援のほか、生活保護の適用、各種貸付金貸与、入学準備金や就学援助資金の支給があ

る。児童生徒が等しく教育を受けることができるように支援する。

問 乳幼児の貧困問題は見落とされがち。

答 乳児健診時にアンケートを実施し、経済的問題の把握にも努めている。村民相談室など適切な相談先につながることもある。また、昨年4月に「はぐくみ」を開設した。



絆に開設した「はぐくみ」は個室
担当者は一人ひとりに寄り添う
気持ちで相談にのっている

問 全国では、居場所作りの一環として「子ども食堂」が急増中。地域でそのような事業に取り組もうとする機運が盛り上がったときの考えは。

答 行政としても応援したい。

一般質問

問 エスディージーズ SDGsの推進を提案する

答 具体化に取り組む



公明党
植木 伸寿 議員

問 今後の、住民自治の向上や「協働」のための取り組みを伺う。

答 村内にも数多くの団体があり、それぞれの得意分野で活躍されている。この方々が地域活動に参加できるような仕組みを作りたい。平成30年度は、村と各自治会長が情報共有する機会をふやし、一人で多くの役割をするのではなく多くの人に少しずつ役割を担ってもらうよう推進したい。

問 いつまでも住み続けられるまちづくりに向け、国連で定め推進しているSDGsの取

り組みがある。村でも取り入れることを提案したい。

答 SDGsは日本語訳で「持続可能な開発目標」とされ、17項目の目標からなっている。この中の11番目「住み続けられるまちづくりを」の項目が村で進めている取り組みの範疇になると考える。国は、「持続可能で強靱、そしてだれ一人取り残さない、経済・社会・環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す」ことをビジョンとして掲げている。村でもその具体化に取り組みたいと考える。



持続可能な開発目標

問 身近で気軽に 参加できるスポーツを

答 きっかけ作りの推進事業を開始



新政とうかい
寺門 定範 議員

問 アンケートでは、手軽に出来るスポーツ、ウォーキングが多くの方に支持されている。ウォーキングイベントと東海まるとの博物館事業との連携も一案。また、身近で気軽に参加できることを考えると「コミセンを活用してはどうか。」

答 ウォーキングを習慣化する工夫が必要と認識。まるごと博物館事業や健康増進関連事業との連携を考えている。また、コミセンのホールを活用し、ニュースポーツの紹介や体験会の開催など、きっかけ作り「Be…スポーツ」

推進事業を開始する。

問 道路の日常点検は役場職員を活用する仕組みを作る

答 職員全員を活用する仕組みを作る

問 道路の日常点検は、職員のみ、住民の目がある。担当者だけでなく、東海村職員全員の目を活用するため、職員が通勤、庁外に出た時、休日での気付きを出すことが必要。

答 職員全員の目を活用することは、有効であると認識している。職員が、不具合箇所を発見した際に、速やかに担当課に報告する仕組みをつくる。

Be:スポーツとは

年齢や体力に合わせた最適(Best)なスポーツを始め(Begin)、スポーツを楽しむ(have a Blast, enjoy)ことで村民の日常にスポーツが在る(Be)よとの想いを込めた造語略して「Beスポ」(ピースポ)



問 保育の量の確保は 保育所の新設で

答 官民一体で必要保育量を確保する



大名 美恵子 議員

問 策定中の「村立保育所、幼稚園等に関する再編整備計画」の基本的考え方及び目指す子ども像を問う。

答 ①適正な施設数と保育量の確保 ②幼児教育と保育の質の向上 ③築後40年の施設は再編整備 ④新施設は認定こども園 ⑤官民一体で待機児童の解消をはかることを基本に、村松幼稚園、百塚保育所、村松宿こども園はそのまま存続。石神幼稚園は、平成34年度を目標に石神小学校の余裕教室を活用。舟石川保育所と舟石川幼稚園

は、平成35年度を目途に幼保連携型認定こども園へ移行し定員を拡大。須和間幼稚園は、5年後を目途に改めて検討。

子育て像では ①五感のフル活用と主体的遊び、感じ、気付きができる環境構成 ②友だちや異年齢集団、先生や地域の方々と一緒に働く、友だちとの折り合い、応援したりする環境 ③保育の質の向上などを重視したい。



子どもの育ちに相応しい環境のため保育所の新設をこども園や空き教室利用はやめ定員も適切に

問 学校働き方改革への 対応はいかに

答 学校現場の声を聴き検討を進める

問 学校における働き方改革に関する総合的な方策（中間まとめ）が公開された。報告では、業務分担の在り方について ①基本的には学校以外が担うべき業務 ②学校の業務だが必ずしも教師が担う必要のない業務 ③教師の業務だが負担軽減が可能な業務に3分類された。これで教師が子ども達の教育を本当に確保できるのか。児童生徒の指導に直接的に関わらない業務は、事務職員や委託業者等が担うことで教師が集中できるとの記載がある。



新政とうかい
武部 慎一 議員

【これまで学校教師が担ってきた代表的な業務の在り方に関する考え方】		
①基本的には学校以外が担うべき業務	②学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	③教師の業務だが負担軽減が可能な業務
登下校に関する対応	調査・統計等への回答等	給食時の対応
放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が捕縛された時の対応	児童生徒の休み時間における対応	授業準備
学校徴収金の徴収管理	校内清掃	学習評価や成績処理
地域ボランティアとの連絡調整	部活動	学校行事の準備・運営
		進路指導
		支援が必要な児童生徒・家庭への対応

学校における働き方改革に関する総合的な方策（中間まとめ）

問 今後の対応はいかに。
答 国の示した分類の中で、教育効果を考えながら、学校現場の声を聞きながら、学校で担ったほうが良いもの、外部委託や地域の方にサポートをお願いしたほうが良いものに分けながら、教職員の負担を和らげるよう考えていく。何より、「二人ひとりの子ども達の自立した社会人として生きる力の育成」が重要であると考える。どの分野の事業を推進したほうが良いかを考えながら進めていく。

問 国保税の 村民負担増は妥当か

答 県の率に基き税率改定を検討した

問 税率改定後の負担増額は。
答 所得150万、40代夫婦と子ども2人世帯は、年4万4千4百円増額になる見込み。
問 国保税は平成24、26、28年と改定し被保険者負担は増えた。平成28年度の一般会計からの法定外繰入金は平成20年度の約半分に減っている。国保税の安定運営のために被保険者に更なる負担増を求めるのではなく、セーフティーネットを充実すべき。
答 高齢化が進み給付費が伸びたための赤字補填的



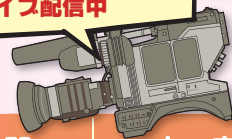
みすずの会
清宮 寿子 議員



高齢者が読みやすくなるといいね

繰入は税の公平性から削減すべき。低所得者への軽減措置もあり、一定の負担はやむを得ない。
問 国保赤字の原因は、国が税金を出さなくなり、国の負担分が被保険者と自治体に転嫁されたことによる。国保への国の支出を増やす要求をすべき。国保は「国民皆保険制度」を下支えする役割があり、公費負担医療制度である。加入者同士の支えあい・相互扶助の精神で運営されるものでなく、赤字は公的機関で負担すべき。
答 国は平成30年度からの国保の県域化に対し、新たな公費投入を行う。

村内各コミセン
総合福祉センター「絆」
でライス配信中



6月定例会日程(予定)

期 日	時 間	内 容	期 日	時 間	内 容
6月 1日 (金)	午前 10時～	開会	6月 14日 (木)	午前 9時～	予算決算委員会
6月 11日 (月)	午前 10時～	一般質問	6月 15日 (金)	午前 10時～	予算決算委員会
6月 12日 (火)	午前 10時～	一般質問	6月 20日 (水)	午前 10時～	議案審議
6月 13日 (水)	午前 10時～	一般質問			

※日程は変更になる場合があります。

どなたでも傍聴できます。役場議会棟2階の議会事務局へお越しください。

委員会のメンバーがかわりました

1 議会運営委員会 (任期2年)

◎委員長 ◇副委員長

委 員 会	人 数	所 属 議 員	所 管
議会運営委員会	9人	◎飛田 静幸 村上 邦男 越智 辰哉 ◇舛井 文夫 江田 五六 吉田 充宏 鈴木 昇悟 岡崎 阿部 功志	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の運営に関する事項 ・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ・議長の諮問に関する事項

2 常任委員会 (任期2年)

委 員 会	人 数	所 属 議 員	所 管
総務委員会	6人	◎吉田 充宏 舛井 文夫 ◇笹嶋 士郎 恵利 いつ 鈴木 昇健一 河野 健一	<ul style="list-style-type: none"> ・企画総務部の所管に属する事項 ・村民生活部の所管に属する事項 ・会計課の所管に属する事項 ・議会事務局の所管に属する事項 ・他の委員会の所管に属さない事項
文教厚生委員会	7人	◎植木 伸寿 村上 孝 阿部 功志 ◇寺門 定範 大内 則夫 村上 邦男 清宮 寿子	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉部の所管に属する事項 ・教育委員会の所管に属する事項
建設産業委員会	7人	◎武部 慎一 飛田 静幸 越智 辰哉 ◇新垣麻依子 江田 五六 大名美恵子 岡崎 悟	<ul style="list-style-type: none"> ・産業部の所管に属する事項 ・建設部の所管に属する事項 ・農業委員会の所管に属する事項
一般会計 予算決算委員会	9人	◎鈴木 昇 村上 邦男 河野 健一 ◇江田 五六 村上 孝 武部 慎一 飛田 静幸 舛井 文夫 植木 伸寿	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計の予算及び決算に関する事項
特別会計 予算決算委員会	10人	◎岡崎 悟 越智 辰哉 阿部 功志 新垣麻依子 ◇恵利 いつ 吉田 充宏 寺門 定範 大名美恵子 清宮 寿子 笹嶋 士郎	<ul style="list-style-type: none"> ・特別会計及び企業会計の予算及び決算に関する事項

3 議会報編集委員会 (任期2年)

委 員 会	人 数	所 属 議 員	所 管
議会報編集委員会	7人	◎寺門 定範 江田 五六 新垣麻依子 ◇岡崎 悟 恵利 いつ 大名美恵子 越智 辰哉	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だより発行に関して必要な事項を協議、調整すること